

News Release

2018年6月20日

BASF、2018-2019年の自動車のカラートレンド予測を発表 ～未来のモビリティと消費者のニーズがカラートレンドにインスピレーション を与える～

- 2018-2019年のカラートレンド予測のテーマは「Keep it Real」(現実にしよう)。デジタルで作られた非現実の世界と現実をつなぐカラー
- ユニークな無彩色が今年の自動車カラートレンド予測のキーカラー
- 表情豊かなグレーとブルーが、スマートなアジアの消費者の心を動かす

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)は、アジア太平洋地域を含む世界の自動車のカラートレンド予測を発表しました。BASFの自動車のカラートレンド予測は、今後3～5年の間に自動車の色選択に影響を及ぼすことになるグローバルトレンドやEMEA(欧州・中東・アフリカ)、アジア太平洋、北米地域のデザインチームが、各地域の密接な連携のもと、広範な研究や分析を経て、グローバルトレンドおよび各地域のトレンドを自動車産業のお客様に提供します。

BASFの2018-2019年の自動車カラートレンドのテーマ「Keep it Real」(現実にしよう)です。このテーマは、現実と非現実の境界線が技術によって曖昧になっている時代に、本物を見失わずにいたいという人々の想いを背景にしています。

人工知能、自動運転、ロボットによる工業化などのイノベーションが根付くなか、人々のニーズや感情といった人間的な要素への回帰が重要視されるようになってきました。BASFコーティングス事業本部のデザイナーたちは、こうした最近の動向を65色の自動車カラーで表現しました。

ダークカラー、ブルー系、複雑なエフェクトが、テクノロジーの偏在性を表現

デジタル化が進んだことで技術を意識することが少なくなり、デジタルなものと現実が密接に絡み合うようになっています。拡張現実のアプリケーションや日常生活を便利

にするスマート機器が、現実とデジタル世界を融合させています。人々はオンラインプラットフォームで多くの時間を過ごし、現実よりもソーシャルメディアで完璧を追求するようになりました。このような日常に存在する技術が、自動車のカラートレンドに反映されています。今年のコレクションのトレンドキーカラーはグレー系とブルー系です。グレー系はカラフルかつナチュラルなアクセントを加える複雑なエフェクトと組み合わせ、現実と非現実の融合を表現しています。スクリーンやデジタルライトを映し出すブルー系は強く高彩度な色です。ナチュラルなテクスチャーとエフェクトは、バーチャルにおける人間性の追求を象徴しています。

機能の変化 – 新たなモビリティのコンセプトがカラーの選択に影響

カーシェアリング、アプリを使った配車サービス、自動運転により、個人の所有物だった車が、公共の輸送機関に近いものへと変わりつつあります。シェアリング目的に設計された車の場合、ニュートラルなカラーが一般的に好まれるため、ホワイト、グレー、ブラックのようなカラーが重要な役割を果たすでしょう。今年のコレクションでは、精巧なテクスチャーと入り組んだエフェクトにより、それぞれのカラーが真にユニークなものとなっています。

BASF は機能的なカラーを継続的に開発することで、未来のモビリティにも対応しています。今年のコレクションの厳選カラーは、車体表面の温度上昇を緩和すると同時に、車内の温度上昇を抑える塗装システムが特徴的です。こういった新たな機能には美しい魅力をそこなわずに、最先端の機能性を備えたカラーや LiDAR システム用の高い反射性を備えたカラーなども含まれています。

アジア太平洋 – 実生活における質を追求

アジア太平洋は、多くの革新的技術が誕生し実験されている地域です。人々は新たな体験を創出するために個人データを収集、利用し、生活の利便性を高めるシームレスな新ソリューションに対して、オープンな態度です。人工知能により、ユーザーは自身が利用するデバイスと対話できるようになり、そこに感情的絆が生まれることで、機器を単なるツールではなく、友人と捉えるようになっていきます。電気自動車による新たな技術はソリューションと喜びをもたらします。デジタルの影響を受けた新鮮なグリーンとブルーは、個性を表現したい活発な若者を引き付けます。

技術の進歩を称賛すると同時に、急速に変化する超効率的なデジタルコミュニケーションによって、現実での交流を求め、現実的な感覚を維持したいと考える人たちも増えています。全く新しいグレー、「Gray Ambivalence」(グレー・アンビバレンス)は技術の両面性を表現しています。日常への高性能技術の融合を表すキラキラ輝くメタリックグレーは、ソリッドフロップによりバランスをとることで、現実世界へのつながりを表現しています。

また、感覚的な満足感を伴う生活の質を追求する多くのアジア人は、今この瞬間を大切に「今日が良いなら未来はより良くなるだろう」と考えています。中国のキーカラー、洗練されたベージュグレー「Golden Sheen」(ゴールデン・シーン)は静かな輝きを放ち、人間らしい感覚と心地良い現代の生活をよく表現しています。

北米 – カラーの視野を拡大

これまで称賛されていたヒーローたちに代わり、新たなアイドルが登場します。欠点は、人間らしさであるとして受け止められ、多様性が称賛されています。また、科学、特に宇宙旅行への新たな熱意が生まれ、遠く離れた世界に注目が集まっています。現実とバーチャルな世界をつなぐもの、そして地球と宇宙の関係性が、北米における BASF のキーカラーに表現されています。それが、程よい粗さを持つ深い高彩度ブルー「Atomium Sky」(アトミウム・スカイ)です。より長いグレージング角度で、よりソフトで、半透明な色合いを醸し出します。このカラーは遊び心にあふれ、未来的な精神と先進的な考えを示しています。BASF が北米のキーカラーにブルーを選ぶのは、今年で二年連続になります。この地域でブルーの人気の高まっている結果と言えるでしょう。

EMEA(欧州・中東・アフリカ) – 都市空間における生活

欧州、中東、アフリカでは公共のスペースの使い方が変わりつつあり、現実の場所に新たな価値が見出されています。デジタルな世界から少し距離を置くことが推奨されており、グレーの色合いが、このトレンドに後押しされています。グレーはコンクリートを連想させるカラーでもあり、都市生活を表すと同時に、触感的効果と結び付けられ、現実体験の重要性を示唆しています。並外れて特徴的なエフェクトは、注目されたいという願望を象徴しています。メタリックの無煙炭グレーである「The Urbanist」(ザ・ア

ーバニスト)は、グローバルなネットワークでつながる、都会のコスモポリタンを表現するカラーであり、人間と技術の融合も表しています。

南米 – 伝統的な色域の変化

南米のカラーは地域の多様性と視覚的につながっています。自動車市場で最も人気の高い色域であるブラックとホワイトが、エレガントで様々な要素を含む自動車用塗料へと形を変えつつあります。地域のキーカラーである「Coriolis Force」(コリオリ・フォース)は、何世代にもわたり受け継がれる伝統的な工芸品や知識に対する愛情、尊敬を表現しています。赤みがかったゴールドフレイクを使用することで、ダークな色合いに豪華さが醸し出されています。強力な光源下では、この地域の真の美しさが現れます。本物の地域の美しさを見せてくれるカラーとなっています。

コーティングス事業本部のカラーに対する専門性

BASF コーティングス事業本部のデザイナーたちは、テクノロジーや社会的な変化を観察し、それらをインスピレーションとして、将来的なトレンドの研究に活用しています。

毎年、デザイナーたちは研究成果や予測を、グローバルトレンドや、欧州・中東・アフリカ(EMEA)、アジア太平洋(AP)、北米(NA)、各地域のトレンド色開発に反映させて、新しい 65 色のコレクションで表現しています。

■BASF のコーティングス事業本部について

BASF のコーティングス事業本部は、革新的な自動車用塗料、自動車補修用塗料、装飾用塗料、メタル、プラスチック、ガラス基板など幅広い産業での表面処理およびそれらの応用に必要なプロセスの開発、生産、販売を行っています。これらのポートフォリオは、新しい市場や事業開発を目指す Innovation Beyond Paint (塗料を超えたイノベーション)プログラムによって提供してまいります。BASF は、ヨーロッパ、北米、南米、アジア太平洋に拠点があります。広範なネットワークを通じて、世界中のお客様と緊密に連携しています。2017 年における BASF コーティングス事業部の世界の売上高は 39.7 億ユーロでした。Solutions beyond your imagination(想像をはるかに超えたソリューション)。BASF コーティングスの詳細情報は www.basf-coatings.com (英語)、www.basf.co.jp/coatings (日本語)をご覧ください。

■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く、世界をリードする化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、環境保護と社会的責任の追及、経済的な成功の3つを同時に果たしています。また、全世界で115,000人以上の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献できるよう努めています。製品ポートフォリオは化学品、高性能製品、機能性材料、農業関連製品、石油・ガスの5つの事業部門から成ります。2017年のBASFの売上高は約645億ユーロでした。BASFは、フランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)およびチューリッヒ(BAS)の証券取引所に上場しています。BASFの詳細情報は、www.basf.comをご覧ください。